

公共事業環境配慮書

建設部 道路建設課

事業名称	
事業名	道路改築事業
整理番号	R5-7
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備
市町村名	木曾郡木曾町
箇所名	姥神峠道路(延伸)
事業年度	令和3年度～令和9年度
事業概要	
目的	地域高規格道路「伊那木曾連絡道路」として、伊那地域と木曾地域を結び、中央自動車道や一般国道19号、一般国道153号と一体となって広域的な道路ネットワークを形成し、地域間の連携と広域交流を促進するものである。
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路改築工 延長L=3.5km、幅員W=7.0(全幅10.5)m
関連する事業計画	しあわせ信州創造プラン、長野県広域道路交通計画、信州みちビジョン
その他特記事項	地域高規格道路「伊那木曾連絡道路」
関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	なし
土地利用規制の状況	森林法の保安林等 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地 河川法の河川区域または河川保全区域 砂防法の砂防指定地
その他	なし
社会的要素	
	留意すべき地域の概況
交通の現況	交通量は約3,710台/日である(内、大型交通量647台/日)
土地利用の現況	山地・丘陵である
生活関連施設の現況	住居が点在している
その他	特になし
自然的環境要素	
	環境配慮の方針
大気環境	留意すべき地域の概況 特になし
	【大気汚染の防止】 ・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。 ・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。
	【騒音、振動の防止】 ・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。
	【悪臭の防止】 ・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。 ・悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。
水環境	留意すべき地域の概況 河川・湖沼がある
	【水質汚濁の防止】 ・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 ・チェーンソーを使用する際は、生分解性チェーンオイルを使用する。 ・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。
	【水循環の保全】 ・水田や地下水・湧水を保全する。 ・構造物や周辺土地利用を考慮したうえで、可能な箇所については浸透樹を設けるなど検討し、河川への流出抑制対策に努める
地形・地質	留意すべき地域の概況 山地である 丘陵である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】 ・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変をできる限り避ける。
	【改変面積の最小化】 ・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。

野生動植物	留意すべき地域の概況	里山の地域である
		クマタカ、カモシカの生息・生育地周辺である 希少性の高い動植物の生息・生育地周辺である
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするが、それができない場合は、重要な植物を個体群の維持が可能な生育適地へ移植・播種する又は生育地を創出し移植・播種する。	
	・重要な植物の移植・播種又は重要な動物の移動を行った場合は、定着や繁殖の状況の確認を行う。	
	・クマタカに関しては定期観測による営巣・繁殖状況等を確認しながら施工を実施し、必要に応じ施工時期の調整やコンディショニング等を行う。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事をできる限り避ける。	
【地域独自の生物多様性の保全】		
・車両、資機材、作業着、靴等を適切に洗浄し、外来種の持込み防止に努める。		
・特定外来生物が確認された場合は、関係機関と相談の上、駆除に努める。		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
・回避すべき重大な影響は想定できない。		
景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
【良好な景観の育成】		
・樹木の伐採はできる限り避ける又は植樹等による緑化に努める。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
【自然とのふれあい空間の創出】		
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	文化財(小沢原遺跡、古宮平遺跡、木曾義仲館跡遺跡、宮の原遺跡)の
	【文化財等への配慮】	
・工事着手前に埋蔵文化財調査を実施し、埋蔵文化財保護を行う。		
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】	
・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】	
・想定される影響はない。		
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
【光害への配慮】		
・想定される影響はない。		

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	水環境	流域治水推進のため、河川への流出抑制対策(浸透側溝や浸透樹などによる雨水の地下浸透等)を可能な限り検討願います。	・構造物や周辺土地利用を考慮したうえで、可能な箇所については浸透樹を設けるなどの検討を行います。

事業位置図



地域高規格道路 伊那木曾連絡道路 L=約20km

